

報告事項ト

県内の文化財に関する行事の開催結果について

県内の文化財に関する行事の開催結果について、別紙のとおり報告します。

平成25年10月28日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

# 1 とっどりの文化遺産魅力発掘プロジェクト事業の実施について

## 1. 概 要

鳥取県内の優れた文化遺産を地域資源としても活用できるように、その魅力の発掘を行うとともに、文化遺産を活かした知的好奇心のアップを図るための講演会や連続講座、シンポジウム、文化遺産ウォーク等を行うもの。今年度は、米子市と南部町を対象エリアとし、県と関係市町及び民間からなる実行委員会を組織して実施した（文化庁の文化遺産を活かした地域活性化事業に採択）。

## 2. 淀江エリアのプロジェクト

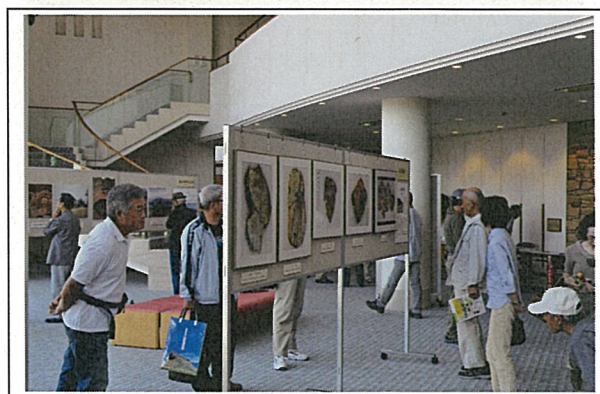
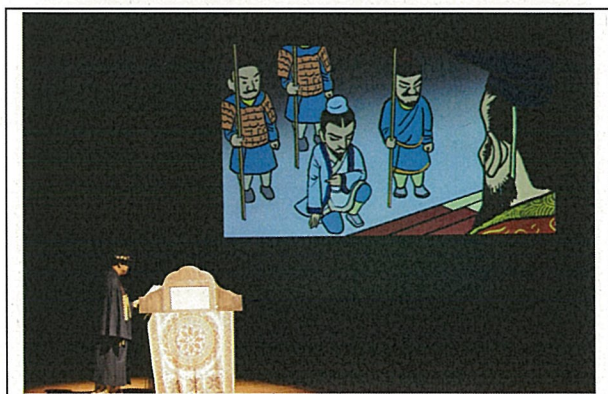
### ①とっどりの文化遺産魅力発掘シンポジウム

#### ○「古代びと千年の記憶～よどえの魅力を探る・楽しむ・活かす～」

米子市淀江町には、弥生時代～白鳳時代の千年の歴史が体感できる歴史遺産が集中している。シンポジウムでは「上淀廃寺再考」と題した記念講演を行うとともに、この地域資源を観光や地域活性化に活かすためにどのような取り組みが可能か、情報発信が効果的なのかをパネルディスカッションで検証した。併せて地域の歴史をわかりやすく次世代に伝えるための歴史紙芝居と地域に伝わる伝統芸能・淀江さんこ節を上演。ロビーでは伝統的な淀江傘製作技術等について展示を行った。

【期 日】10月12日（土）午後1時～4時30分

【会 場】米子市淀江文化センター 大ホール 来場者 225名



○シンポジウム前日（11日）には関係者等（県内文化財・観光関係者含む）の研修として「文化財の経済学—そのマネジメントまで」と題したミニレクチャー（12名参加）を行なう一方、シンポジウム翌日には、淀江の歴史遺産をバスでめぐるエクスカージョン（30名参加）を実施した。

## ②淀江の歴史遺産講座事業

シンポジウムのイベントとして、淀江の歴史・文化遺産を取り上げたトークプレイス（連続講座）を行った。

○第1回「弥生の村 むきばんだー妻木晩田遺跡史跡指定 15 年を振り返ってー」（参加者 24 名）

○第2回「古代淀江の王たちー古墳群と石馬から考える古墳時代の淀江ー」（参加者 40 名）

○第3回「地域の民俗芸能と祭り・行事～淀江さんこ節から日本を元気に～」（参加者 25 名）

※11 月からは「上淀廃寺の謎に迫る！」として、3 回連続のトークプレイスを開催予定

## 3. 米子・南部エリアのプロジェクト

### ③法勝寺電車廃線ウォーク

車両が県保護文化財に指定されている旧日ノ丸自動車法勝寺鉄道（通称法勝寺電車）の米子⇄法勝寺間の廃線跡をウォークマップを用いてたどり、駅プラットフォーム跡や鉄橋跡などの近代化遺産を訪ねる全線 12.7 km の廃線ウォークを、駅長印を用いたスタンプラリーとして実施した。

【期 日】10 月 5 日（土） 参加者 130 名



### ④まなぶ・楽しむ、よなごの鉄道遺産事業

米子市立山陰歴史館の企画展「鉄道のまち・よなごの歴史」（9 月 21 日～11 月 24 日）と連携して、鉄道遺産をテーマとした講演会（10 月 19 日）を開催するとともに、法勝寺電車車両ペーパークラフト・法勝寺電車復刻切符等を作成して、子どもを対象としたワークショップ「法勝寺電車のペーパークラフトをつくろう！」を 10 月と 11 月の 2 回行う予定。

## 2 青谷上寺地遺跡フォーラム2013「日本海を行き交う弥生の宝石 ～青谷上寺地遺跡の交流をさぐる～」の開催結果について

日 時	平成25年9月28日(土) 午後1時から午後5時まで
会 場	とりぎん文化会館(鳥取市尚徳町)
主 催	鳥取県埋蔵文化財センター
参加料	無料(ただし資料代として500円を徴収)

### 1 概要

- ・「青谷上寺地遺跡フォーラム」は、今年度で5回目。今年度は、青谷上寺地遺跡から出土した勾玉・管玉などの玉作関連資料をテーマに、最新の調査研究成果を参加いただいた方にわかりやすく解説。
- ・勾玉などの装身具研究の第一人者である木下尚子氏(熊本大学文学部教授)による特別講演。
- ・埋蔵文化財センター職員及び外部招聘講師(2名)による、青谷上寺地遺跡や北陸、西日本の玉作りについての基調報告。
- ・青谷上寺地遺跡と北陸、北部九州との交流についてさらに深く論点を掘り下げるため、講師と埋蔵文化財センター職員によるパネルディスカッションを実施。参加者が理解しやすいように、玉や原石などの実物資料をビデオカメラでスクリーンに映しながら解説を行った。
- ・会場にて青谷上寺地遺跡及び県内遺跡から出土した玉作関連資料を展示。また、関係図書の販売も実施。

### 2 開催結果

(1) 参加者数 166名(定員180名)

(2) アンケート結果(回答数:68件)

#### ○フォーラムの内容の理解度について

- ・よくわかった 46人、普通 16人、難しかった 4人  
(無回答 2人)

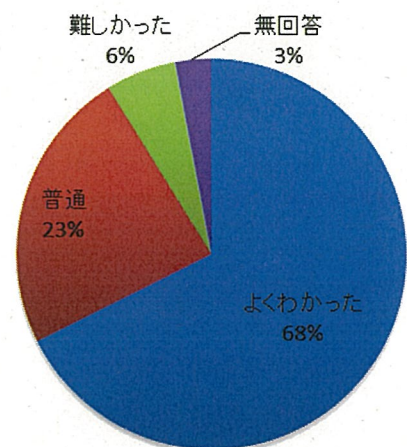
#### ○フォーラムの主な感想

##### 【好評的感想】

- ・木下先生(特別講演講師)の話が初心者にもわかりやすく、面白くて引き込まれた。
- ・パネルディスカッションでの、実物資料を用いながらの説明が分かりやすく、とても良かった。
- ・奥深い内容をとてもわかりやすく掘り下げて下さり、発表者の方々の細かい心遣いが伝わってきた。
- ・資料集がとても詳しく、分かりやすかった。
- ・市民が考古学の最新の成果に親しむことのできる、画期的なフォーラムだと感じた。

##### 【課題とすべき感想】

- ・報告一本あたりの時間が短いように感じた。もう少し詳しく聞きたかった。
- ・昼食を挟んで、ゆったりとした日程で実施してほしい。



課題とすべき感想も見られたものの、「分かりやすかった」という感想を多くいただいており、青谷上寺地遺跡の研究成果を情報発信し、理解を深めていただくというフォーラムの目的はおおむね達成できた。



受付の様子



遺物展示の様子



木下教授の講演



センター職員による報告



パネルディスカッション



パネルディスカッション(ビデオカメラによる説明)



センター発行図書の販売コーナー



会場内の様子

### 3 むきばんだまつりの開催結果について

#### 1 概要

平成25年9月23日(月・祝) むきばんだ史跡公園において「むきばんだまつり」を開催しました。当日は好天に恵まれ過去最高となる2,900名もの皆さまにご来園いただき、実りの秋を存分に楽しんでいただきました。

妻木晩田遺跡から出土した鉄器の中には朝鮮半島で作られたとみられるものも出土していることから、大陸との交流や青谷上寺地遺跡との交流をイメージした収穫祭を実施しました。また、全国植樹祭で活躍したトッキーノを名誉ムラ人(第2号)として認定しました。

#### 2 主なイベント内容

##### (1) ステージイベント

- ア 収穫祭・・・弥生ムラの住人による収穫祭、古代米餅つき、韓国の民俗舞踏の披露
- イ 名誉ムラ人認定式第二弾・・・植樹祭のキャラクター「トッキーノ」を認定
- ウ ミニコンサート・・・ゴスペルオーブのメンバーが巫女に扮し歌を披露

##### (2) スペシャルイベント

- ア ゴロ画伯の紙芝居・・・松村宏氏による歴史紙芝居を竪穴住居内にて上演
- イ 電動アシスト自転車体験会・・・今年度導入した新規事業の体験会

##### (3) 弥生人の食卓

- ア 古代食の提供・・・古代米ごはん、どんぐりすいとんの無料提供
- イ 竪穴茶店・・・竪穴住居で米子南高生手作りのお菓子・飲み物の提供

##### (4) その他

- 勾玉づくり・土器づくり等の古代体験、ポニーに乗って遺跡めぐり、魚のつかみどり



山陰サムルノリによる韓国舞踊



トッキーノ名誉ムラ人認定式



ゴスペルオーブの歌声



米子南高生によるお菓子作り